

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和3年11月17日
発信課 担当者	経済総務課 高田
連絡先	電話 0166-25-7152
	FAX 0166-26-7093
	E-mail keizaisomu@city.asahikawa.lg.jp

分類	イベント・行事 募集 契約・入札 会議・説明会 その他 (該当する分類を囲むこと。)
日程	11月24日
発表項目	高校生インターンシップ事業成果発表会について
概要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	<p>旭川圏トライアルワーク連携支援事業」における高校生インターンシップ事業を利用した旭川明成高等学校において、「地域探求学習」の成果発表会を次のとおり予定しています。</p> <p>1 日 時：令和3年11月24日（水）14時15分～15時05分 2 場 所：旭川市緑町14丁目 旭川明成高等学校 3 参加予定者：旭川信用金庫理事長（協議会会長）原田直彦ほか</p> <p>「旭川圏トライアルワーク連携支援事業」 働き手の流出，地域中小企業の慢性的な人材不足，大学等進学・就職に伴う若年層の流出など，喫緊の課題に対応するため，上川中部地域の産学官金の連携により「旭川圏トライアルワーク連携支援事業」を次のとおり実施しております。</p> <p>1 旭川圏トライアルワーク事業 求職者と圏域の中小企業を「トライアルワーク」（常用雇用を出口とした就労体験）という形でマッチングし，地域中小企業の人材獲得に繋げる。</p> <p>2 高校生インターンシップ事業 地域中小企業のしごとの魅力や社会的役割を学ぶ事前学習，受入企業で短時間のインターンシップを体験，地域と生徒本人の将来の関わり方（地元就職を想定したキャリアプラン）を考える事後学習を実施する。</p> <p>各事業の詳細は別添事業概要をご参照ください。</p>
添付資料	有 ・ 無
報道（取材）に当たってのお願い	当日の取材についてのお問い合わせ先は旭川明成高等学校の中田楓弥様となります。 Tel. 0166-51-3220
備考	

令和3年11月9日

関係者各位

旭川明成高等学校
校長 五十嵐 暁郎

高校生インターンシップ事業 「地域探究学習」成果発表会のご案内

日頃より、本校の教育活動に深いご理解とご協力を賜りまして心より感謝申し上げます。

さて、本校1年次において、『総合的な探究の時間』の中で、本活動は地元企業との接点を通じて地域の課題と向き合う取り組みを行ってまいりました。旭川圏トライアルワーク推進協議会の高校生インターンシップ事業を取り入れ、また、地域の中小企業は高校生にとってリアリティのある「課題設定・課題解決の場」になりうるとの考えから、10月27日(水)に生徒が複数企業の中から選択した企業の話のリモートにて聴講し、仕事の魅力や、社会的役割を学び、生徒自身の将来を考える時間とすべく取り組んで参りました。

本校では、この度これらの活動の集大成として発表会を開催することにいたしました。当日は全ての生徒が発表することは時間の制約上厳しいため、一部生徒が発表させていただきます。

つきましては、ご多忙中とは存じますが、万障繰り合わせのうえ、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

- 日時 2021年11月24日(水) 14:15～15:05
※14時までに御来校お願いいたします。
- 会場 旭川明成高等学校
〒078-0823 旭川市緑町14丁目
- ご依頼 生徒が発表後、内容に対しての簡単な講評をいただきたく存じます。

<p>お問い合わせ先 旭川明成高等学校 担当 中田 楓弥 TEL 0166-51-3220 FAX 0166-52-2151</p>

あらゆる働き手と地域中小企業を繋ぐ!! 旭川圏トライアルワーク連携支援事業

令和2～4年度 地方創生推進交付金

課題

- 1) 働き手の都市圏（特に札幌圏）流出
- 2) 地域中小企業の慢性的な人材不足
- 3) 大学等進学から就職に伴う若年層の流出

取組方向

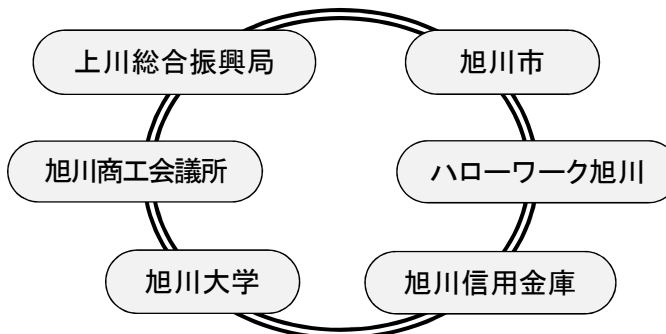
- 1) 働き手の流出抑制
圏域における地域就労・定着の促進
- 2) 地域中小企業の人材獲得
人材獲得に向けた新たな仕組みの構築
- 3) 高校生の地元志向を高める（進学後 地元回帰）
地元就職の志向を高める高校生インターンとキャリア教育の普及

スケジュール

- | | |
|--------|--|
| R2.6月 | 協議会設立 |
| R2.9月～ | トライアルワークセンター開所
(シニア対象)
高校生インターンシップ開始 |
| R3.4月～ | トライアルワークセンター
(全世代対象) |

旭川圏トライアルワーク推進協議会

- 働き手（全世代）に対する就職支援
- 中小企業の人材確保
- 企業の受入環境の改善支援
- 高校生の地元志向化を醸成
- ※活動エリア：旭川圏



働き手（現役+シニア）

昨年の圏域求職件数：1.4万件うち0.3万件就職

声）表面的な企業・求人情報等の提供だけでは、希望の就職先は見つからない（ミスマッチ恐れあり）

その結果、転職等を機に多くが都市圏（札幌）へ流出

処方箋

旭川圏トライアルワーク事業（職業紹介） 実施者：旭川信用金庫

まちなかしごとプラザ（ハローワーク併設）に隣接した相談窓口を設置

トライアル雇用、職場見学により、求人先を確認後に就職可能

受入企業と求職者の最終的な就職マッチングまで対応

その他、受入企業の確保充実

高校生（進学予定者）

卒業3千人のうち、約7割進学

声）就職はまだ先、進学後に求人条件のいい大手または都市圏企業の就職を検討したい

その結果、圏外進学者の多くが大手、都市圏企業に就職

処方箋

高校生インターンシップ事業（ふるさと×キャリア教育） 実施者：㈱マイナビ

地場産業の特徴・魅力を学ぶ学習プログラムの実施

地域中小企業でのインターンシップの実施（AIの活用）

地元就職を考えさせるキャリア教育の実施

その他、高校への案内及びインターンシップ受入企業の確保充実

○事業により得られる効果《流出抑制》

- ✓ 求職者が自分にあった職業か判断した上での就職
- ✓ 人手不足に陥っている地域中小企業の人材確保
- ✓ トライアル受入結果に基づいた企業の職場環境の改善
- ✓ 未経験者、転職者による労働力移動の円滑化

○事業の自立・発展

- ✓ 自立性
就職時の成功報酬を財源に自立
- ✓ 事業の将来展望
UIJターンの促進、多様な雇用形態（副業・兼業等）のトライアル雇用

○事業により得られる効果《地元回帰》

- ✓ 生徒に対する地場産業の魅力浸透と職業観の醸成
- ✓ 圏外進学者のUターン創出
- ✓ 将来の担い手となる若年層の囲い込み